

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Tomo de coco 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025/12/01 ~ 2025/12/13		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025/12/01 ~ 2025/12/13		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/21		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの状況やニーズを丁寧に把握し、個別支援計画に基づいた支援を継続的に実施できている点が強みである。定期的なモニタリングや職員間の情報共有により、支援内容の質の向上が図られており、今後も専門性をさらに高めていくことが期待される。	子ども一人ひとりの状況やニーズを把握するため、定期的なアセスメントやモニタリングを行い、職員間で情報共有を図っている。個別支援計画に基づき、日々の支援の振り返りを行いながら、支援内容の質の向上に努めている。	職員の専門性向上を目的とした研修への参加を継続し、支援の質のさらなる向上を図る。また、ケース検討や関係機関との連携を充実させ、個別支援計画の精度を高めていく。
2	職員同士が日常的に情報共有や意見交換を行い、チームとして支援を行えている点が強みである。支援の振り返りや改善を継続的に行う体制が整っており、今後も組織力を活かした支援の充実が期待される。	日常的なミーティングや情報共有を通して、職員間で支援内容の確認や意見交換を行っている。チームで支援を振り返る機会を設け、支援の統一と質の向上に努めている。	職員間の連携をより一層深めるため、ケース検討や振り返りの機会を充実させていく。また、職員の意見を支援や業務改善に活かし、組織全体の支援力向上を図る。
3	保護者との丁寧なコミュニケーションや、学校・関係機関との連携を重視した支援が行われている点が強みである。子どもを中心に家庭・地域とつながる支援体制を今後さらに充実させていくことが期待される。	保護者との日常的な情報共有や相談対応を大切に、安心して利用できる関係づくりに努めている。また、学校や関係機関と連携し、子どもの状況に応じた支援を行っている。	保護者や関係機関との連携をさらに強化し、多面的な視点を取り入れた支援を充実させていく。引き続き、子どもを中心とした支援体制の構築を進めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援計画に基づく支援の評価や見直しについて、より体系的に整理し、支援の質向上につなげていくことが期待される。	支援記録や情報は蓄積されているが、評価や振り返りを体系的に整理し、個別支援計画へ十分に反映できていない面がある。	評価・モニタリングの視点を整理し、振り返りの機会を計画的に設けることで、支援内容の改善につなげていく。
2	活動内容に応じた空間の使い分けについて、さらなる工夫が求められる。	物理的なスペースに限りがあり、活動や個別対応に十分活用しきれない場面がある。	活動内容に応じた空間の使い分けや配置の工夫を行い、より過ごしやすい環境づくりを進めていく。
3	地域行事や他事業所、外部機関との交流の機会が限られている。	交流の機会や情報が少なく、積極的な関わりにつなげにくい状況がある。	地域行事や外部交流の情報収集を行い、参加や連携の機会を少しずつ増やしていく。